#### 実践報告2023

# 〈MMC:地域デザイン演習Ⅲ(履修目安学年 2年)〉

# シブヤ大学とのコラボ授業

開催日時 : 2023年12月10日(日)、16日(土)

場所: 恵比寿社会教育館、上原社会教育館、comecafe Osamu bar参加人数: 21名(国際日本学部11名·経営学部1名·法学部1名·経済学部3名

人間科学部4名·人間科学研究科1名)

担当教員 : 左京泰明 非常勤講師

地域デザイン演習Ⅲ(担当教員:左京泰明 非常勤講師)履修者21名の実習として、特定非営利活動法人シブヤ大学との協働による市民講座を2日間にわたり開催しました。

#### 目的

- ① 特定の地域で活動する市民大学の現場を経験する。
- ② 実際に特定の学習者をターゲットとした講座の企画から運営の PDCAサイクルを経験する。
- ③ 市民大学に関わる多様な主体や市民との関わりを経験する。

## 当日までの主な経過

- ① 講師選定。その人を先生にした時に、その人からどんなことを 学んでみたいか考える。
- ② 講師への依頼文の作成し、事前打ち合わせを行う。
- ③ シブヤ大学ホームページに掲載する広報文を作成する。
- ④ 当日の運営を行う。

# 連携先

特定非営利活動法人シブヤ大学 https://www.shibuya-univ.net/

#### 実習概要

〇12月10日(日) 10:00-12:00 (開催場所:恵比寿社会教育館)

テーマ:「誰も」が「自分らしく」生きていくために

○12月16日(土) 09:00-11:00 (開催場所:comecafe Osamu bar)

テーマ:渋谷で暮らしの井戸端会議

○12月16日(土) 10:00-12:00 (開催場所:上原社会教育館)

テーマ:DEEP THINKING~終わりなき思考に挑戦しよう~

○12月16日(土) 14:00-16:00 (開催場所:上原社会教育館)

テーマ:【ブックイベント選書会】悩む人と本好きさんとのアナログエンカウンター

〇12月16日(土) 14:00-15:30 (オンライン)

テーマ:【オンライン授業】デジタルが気候変動の原因に?!「脱炭素×デジタル」を考えてみよう!















### 「誰も」が「自分らしく」生きていくために 講師:進藤夏葉氏

初めて社会教育をする場での授業作成であったため、どのように準備して良いのか分からずとても苦戦しました。講師の方と zoom や対面でのミーティングを通して、授業の目的は何なのかを考えていきながら授業企画をしていきました。その期間に、実際にシブヤ大学の授業に参加して、普段コミュニケーションを取ることのない世代の人たちと出会える場、考えを共有できる場の面白さを感じました。そこから自分たちでも、このような実りのある授業を作りたいと思い、当日まで作業を進めていくことができました。進藤さんの講義では、進藤さんが

活動していく上で掲げている目的「誰もが安心してすごせる学校・社会・日常づくりのために」を中心にお話をしていただきました。そこから、多様性をきっかけに自分にできることは何かを考えていくという講義内容となっていました。講義後には【①もやもやしちゃったこと・させちゃったこと】【②自分にできることってなんだろう?】をテーマにワークを行いました。このワークを通じ、自分が勝手に「当たり前」と考えていた思い込みが実は誰かを傷つける凶器となってしまう危ない考えであったことに気づくことができました。講座全体を通して、価値観が変わり、世界が広がるような…貴重な体験をさせていただきました。



#### デジタルが気候変動の原因に?!「脱炭素×デジタル」を考えてみよう!

講師:我有(がう)才怜氏

この講座では、脱炭素と聞くと「理系の分野の話」で「自分たちにはどうしようもできない難しい問題」という印象を持つ人達が少しでも脱炭素を身近に感じてもらうことを目的とし、開催しました。

脱炭素 DX 研究所の所長をされている我有(がう)才怜さんを講師にお招きして、脱炭素や昨今の気候変動に関する基本的な講義とデジタルを絡めた発展的

な講義の二つについてお話ししていただいた後、簡単なワークショップを行いました。お人柄の素敵な我有さんと共に、様々なバックグラウンドを持つ方と共にお話できて、より一層脱炭素についての興味が湧きました。私たち一人ひとりができる「脱炭素」に向けた取り組みは本当に小さいものですが、「脱炭素」をもっと日常にしていくためにも、環境問題に関する講座を開設できてよかったです。



DEEP THINKING〜終わりなき思考に挑戦しよう〜 講師:矢島祐作氏この講座では、皆さんが日々抱く様々な疑問に対して、答えを見つけるのではなく「モヤモヤしたまま帰ってもらう」ことをゴールとし、参加者の皆さんにディスカッションをしていただきました。講座の最後には矢島さんから全体の講評をいただきました。矢島さん自身も楽しく、勉強になったとおっしゃっており、「自分たちの当たり前は当たり前じゃない」とし、講座を締めました。

私は今回、「答えを見つけない」という新しいディスカッションの形に出会いました。1つの正解にたどり着こうとするのではなく、モヤモヤと一緒に生きていくことが私たちの生活を豊かにするのだと思います。



#### *渋谷で暮らしの井戸端会議* 講師:安西仁美氏 西尾治氏

学生の私たちにとって渋谷といえば、大都会で人が多いといったイメージが強かったため、「そんな渋谷で暮らすってどんな感じだろう?」という素朴な疑問からこの授業は生まれました。今回、長年渋谷区に住みながら、ゆるやかに食と生活の関係を見つめている安西さんからお話をしていただきました。また、味噌作りは、体と心に優しい料理を提供するカフェのオーナーの治さんに教えていただきました。お二人の先生からのお話が初めて聞くことばかりでとても面白く、息ぴったりな会話が充実した時間へと繋がりました。



#### *悩む人と本好きさんとのアナログエンカウンター* 講師:村松一伸氏

選書会とは、ある悩みを解決する本をみんなで持ち寄って紹介をし合い、本の力によってその悩みを解決するお手伝いをする会です。今回は学生チームの一人が抱えている悩みを提示し、その悩みに寄り添った本を参加者の皆さんに持ってきていただきました。《ブックセラピスト》となった参加者の皆さんの過去や本を紹介するにあたっての背景などの説明を受けた本たちは、一つひとつに他の本と被らない個性があり、それが伝えたいものも異なっていました。また、ブックセラピストが込めた思いや感じて欲しいことが、登壇

した、悩みを持つ人だけでなく、ほかのセラピストの過去や身近な人に当てはめたりして、自身が処方される側の 立場になって紹介を聞くこともでき、柔らかい雰囲気で無事終了することができました。